



## SIP ルート パターンの設定

---

Cisco CallManager は、SIP ルート パターンを使用して内部コールと外部コールの両方をルーティングまたはブロックします。

ルーティングの判断基準となるのは、ドメイン名または IP アドレスです。管理者は、ドメイン、IP アドレス、および IP ネットワーク (サブネット) アドレスを追加して、それらを SIP トランク (のみ) に関連付けることができます。この方法によって、これらのドメインを宛先とする要求が、特定の SIP トランク インターフェイスを通じてルーティングされるようになります。



**(注)** Cisco CallManager にはデフォルトの SIP ルート パターンが存在しないため、管理者がセットアップする必要があります。

ドメイン名の例 : cisco.com、my-pc.cisco.com、\*.com、rtp-cem[1-5].cisco.com

ドメイン名で有効となる文字 : [、-、.、0～9、A～Z、a～z、\*、]

IP アドレスの例 : 172.18.201.119 または 172.18.201.119/32 (明示的 IP ホスト アドレス)、172.18.0.0/16 (IP サブネット)、172.18.201.18.21 (IP サブネット)

IP アドレスで有効となる文字 : 0～9、.、および /

---

## SIP ルート パターンの検索

ネットワーク内にはいくつかの SIP ルート パターンが存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の基準を指定して、特定の SIP ルート パターンを見つけることができます。SIP ルート パターンを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

ブラウザ セッションでの作業中は、検索 / リストの検索設定がクライアント マシンの cookie に保存されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合や、ブラウザを閉じてから再び新しくブラウザ ウィンドウを開いた場合でも、検索に変更を加えない限り、Cisco CallManager の検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** Call Routing > SIP Route Pattern の順に選択します。

Find and List SIP Route Patterns ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、SIP ルート パターンを検索します。

**ステップ 2** 最初の Find SIP Route Patterns ウィンドウのドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- Pattern
- Description
- Route Partition

2 番目の Find Servers ウィンドウのドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- is exactly (完全一致)
- ends with (後方一致)
- is empty (空白)
- is not empty (非空白)

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。



ヒント

データベースに登録されている SIP ルート パターンをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出された SIP ルート パターンのリストが、次の項目別に表示されます。

- Pattern
- Description
- Route Partition



(注) 該当するサーバの横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、**Find and List Servers** ウィンドウから複数の SIP ルート パターンを削除できます。**Matching Records** タイトルバーにあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべての SIP ルート パターンを削除できます。



(注) 検索によって返された件数が非常に多い場合、目的の SIP ルート パターンを簡単に見つけるには、**Search Within Results** チェックボックスをオンにし、**Find** をクリックします。このチェックボックスをオンにして **Find** ボタンをクリックすると、前回のクエリーの結果を対象にして検索が実行されます。検索結果を対象にして検索する必要がなくなった場合は、チェックボックスをオフにすると、次回のクエリーは新規検索として実行されます。

**ステップ 4** レコードのリストで、検索条件と一致する SIP ルート パターンをクリックします。

選択した SIP ルート パターンがウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.39-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## SIP ルート パターンの設定

SIP ルート パターンを追加、更新、またはコピーする手順は、次のとおりです。

### 手順

---

**ステップ 1** 次の作業のいずれかを実行します。

- SIP ルート パターンを追加するには、**Call Routing > SIP Route Pattern** の順に選択し、**Add New** をクリックします。
- SIP ルート パターンを更新するには、[P.39-2](#) の「**SIP ルート パターンの検索**」の手順を使用してパターンを検索します。
- SIP ルート パターンをコピーするには、[P.39-2](#) の「**SIP ルート パターンの検索**」の手順を使用して、コピーするパターンを検索します。コピーするパターンに対応する **Copy** アイコンをクリックします。

SIP Route Pattern Configuration ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 適切な設定値を入力します ([表 39-1](#) を参照)。

**ステップ 3** ウィンドウ右上のツールバーに表示されている **Save** アイコンをクリックして (または、ウィンドウの一番下に表示されている **Save** ボタンをクリックして)、データを保存し、サーバをデータベースに追加します。

---

### 追加情報

[P.39-8](#) の「**関連項目**」を参照してください。

## SIP ルート パターンの設定値

### 始める前に

SIP ルート パターンを設定するには、少なくとも 1 つの SIP プロファイルと SIP トランクを設定する必要があります。

表 39-1 では、SIP ルート パターンの設定値について説明します。関連する手順については、P.39-8 の「関連項目」を参照してください。

表 39-1 SIP ルート パターンの設定値




フィールド	説明
<b>パターン定義</b>	
Pattern Usage	(必須) ドロップダウン リストから、Domain Routing または IP Address Routing のいずれかを選択します。
Pattern	(必須) ドメイン、サブドメイン、IP アドレス、または IP サブネットワーク アドレスを入力します。   <b>(注)</b> IP サブネットワーク アドレスの場合は、Classless Inter-Domain Routing (CIDR; クラスレス ドメイン間ルーティング) 表記の X.X.X.X/Y にします。Y は、ネットワーク アドレスとなるアドレスのビット数を示します。
Description	このオプションエントリには、SIP ルート パターンの説明を入力します。
Route Partition	パーティションを使用して SIP ルート パターンへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから適切なパーティションを選択します。SIP ルート パターンへのアクセスを制限しない場合は、パーティションの代わりに <None> を選択します。パーティションの使用方法的詳細については、P.42-1 の「パーティションの設定」を参照してください。  Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで設定されたパーティションの数が 250 以上の場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウン リスト ボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Partition ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにパーティション名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるパーティションのリストで希望するパーティション名をクリックし、OK をクリックします。   <b>(注)</b> リスト ボックスの最大項目を設定するには、System > Enterprise Parameters の順に選択し、CCMAdmin Parameters を選択します。   <b>(注)</b> SIP ルート パターン、ルート フィルタ、およびパーティションの組み合わせが、Cisco CallManager クラスタ内で固有であることを確認してください。
SIP Trunk List	(必須) ドロップダウン リストを使用して、SIP ルート パターンの関連付け先となる SIP トランクを選択します。

表 39-1 SIP ルート パターンの設定値 (続き)


フィールド	説明
Block Pattern	このパターンをコールのルーティングに使用しない場合は、Block pattern オプション ボタンを選択します。
<b>発信側変換</b>	
Use Calling Party's External Phone Mask	発信コールで完全な外部電話番号を CLID (calling line ID) に使用する場合は、このチェックボックスをオンにします。また、すべての電話機で External Phone Number Mask を設定することもできます。
Calling Party Transformation Mask	変換マスク値を入力します。有効となるエントリは、数字 (0 ~ 9)、ワイルドカード文字 (X)、アスタリスク (*)、およびシャープ (#) です。このフィールドがブランクのときに、上記のフィールド (Use Calling Party's External Phone Number Mask) がオフの場合、発信側変換は行われません。詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「発信側番号の変換設定値」を参照してください。
Prefix Digits (Outgoing Calls)	Prefix Digits (Outgoing Calls) フィールドに、プレフィックス番号を入力します。有効となるエントリは、数字 (0 ~ 9)、ワイルドカード文字、アスタリスク (*)、およびシャープ (#) です。  <b>(注)</b> 付加されたプレフィックス番号は、割り当てられたデバイスにルート指定される電話番号に影響を与えません。
Calling Line ID Presentation	Cisco CallManager は補助的なサービスとして、CLIP/CLIR (Calling Line ID Presentation) を使用します。これは、コールごとに発信者の電話番号を許可、または制限します。  この SIP ルートパターンに対して、Cisco CallManager が発信側電話番号を着信側の番号表示画面で表示するかどうかを選択します。  Calling Line ID Presentation を変更しない場合は、Default を選択します。Cisco CallManager で発信側の電話番号が表示されるようにする場合は、Allowed を選択します。Cisco CallManager が発信側の電話番号を表示しないようにする場合は、Restricted を選択します。  このフィールドの詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「発信側番号の変換設定値」の表 17-6 を参照してください。
Calling Line Name Presentation	Cisco CallManager は補助的なサービスとして、CNIP/CNIR (Calling Name Presentation) を使用します。これは、コールごとに発信者の名前を許可、または制限します。  この SIP ルートパターンに対して、Cisco CallManager が発信側の名前を着信側の番号表示画面で表示するかどうかを選択します。  発信側の名前表示を変更しない場合は、Default を選択します。Cisco CallManager で発信側の名前情報が表示されるようにする場合は、Allowed を選択します。Cisco CallManager が発信者名情報を表示しないようにする場合は、Restricted を選択します。  このフィールドの詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「発信側番号の変換設定値」の項の表 17-6 を参照してください。

表 39-1 SIP ルート パターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
<b>接続側変換</b>	
Connected Line ID Presentation	<p>Cisco CallManager は補助的なサービスとして、COLP/COLR (Connected Line ID Presentation) を使用します。これは、コールごとに発信者の電話番号を許可、または制限します。</p> <p>この SIP ルート パターンに対して、Cisco CallManager が接続側電話番号を発信側の番号表示画面で表示するかどうかを選択します。</p> <p>接続側の回線 ID 表示を変更しない場合は、Default を選択します。接続側の電話番号を表示する場合は、Allowed を選択します。Cisco CallManager が接続側の電話番号を表示しないようにする場合は、Restricted を選択します。</p> <p>このフィールドの詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「接続先情報の表示設定と制限設定」の項の表 17-9 を参照してください。</p>
Connected Line Name Presentation	<p>Cisco CallManager は補助的なサービスとして、CONP/CONR (Connected Name Presentation) を使用します。これは、コールごとに着信側の名前を許可、または制限します。</p> <p>この SIP ルート パターンに対して、Cisco CallManager が接続側の名前を発信側の番号表示画面で表示するかどうかを選択します。</p> <p>接続側の名前表示を変更しない場合は、Default を選択します。接続側の名前を表示する場合は、Allowed を選択します。Cisco CallManager が接続側の名前を表示しないようにする場合は、Restricted を選択します。</p> <p>このフィールドの詳細については、『Cisco CallManager システム ガイド』の「接続先情報の表示設定と制限設定」の項の表 17-9 を参照してください。</p>

## SIP ルート パターンの削除

Cisco CallManager データベースから SIP ルート パターンを削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** P.39-2 の「[SIP ルート パターンの検索](#)」の手順を使用して、SIP ルート パターンを検索します。
  - ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する SIP ルート パターンを選択します。
  - ステップ 3** ウィンドウ右上のツールバーに表示されている **Delete Selected Item** アイコンをクリックして（または、ウィンドウの一番下に表示されている **Delete Selected** ボタンをクリックして）、SIP ルート パターンを削除します。

SIP ルート パターンが使用中でない場合、Cisco CallManager がパターンを削除します。SIP ルート パターンが使用中である場合は、メッセージが表示されます。

---

### 追加情報

P.39-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [SIP ルート パターンの検索 \(P.39-2\)](#)
- [SIP ルート パターンの設定 \(P.39-4\)](#)
- [SIP ルート パターンの削除 \(P.39-8\)](#)
- [SIP ルート パターンの設定値 \(P.39-5\)](#)